

# 実学としての情報リテラシー講習会

## ●情報検索入門～レポートの書き方●

### 第2回目

---

医学部 2008

**PBL: Project-Based Learningの基礎**

**レポートとは、これまでの  
成果の上に、あなたの考察  
を積み重ねて伝えること。**



**情報検索のその先へ！**



三重大学附属図書館

情報リテラシー担当

Email literacy@ab.mie-u.ac.jp

# ●情報検索入門～レポートの書き方● 講習会の内容



## 1日目

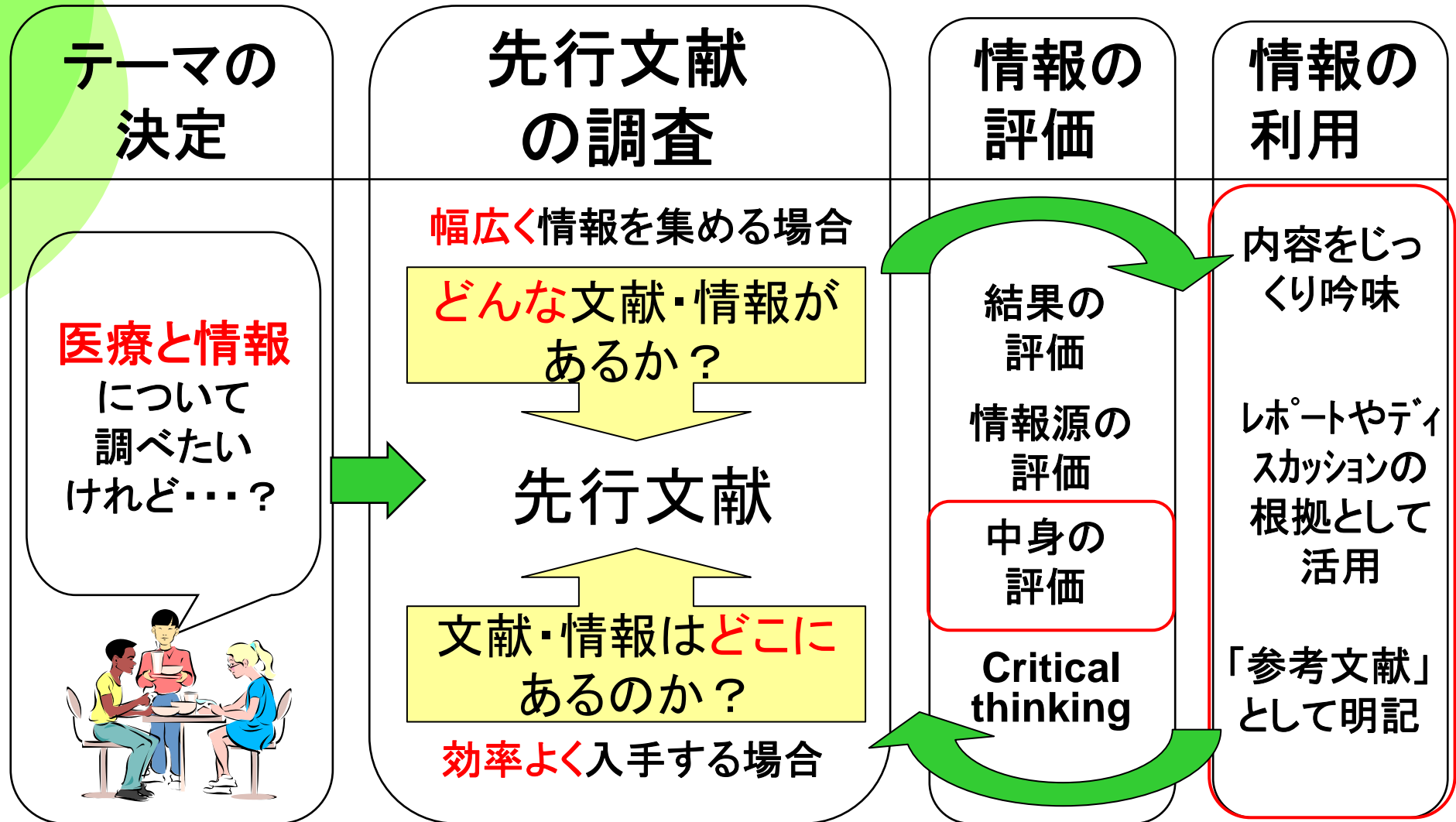
- 情報リテラシーとは
- OPAC～三重大大学の図書・雑誌を探す
- Webcat Plus～テーマから図書を探す～
- 自分でテーマを決めて図書を探してみよう  
(実習)



## 2日目

- レポート作成の基本
- 簡単なレポートを書いてみよう(実習)
- まだまだできる文献探し・便利なサービスいろいろ

# 復習Point: 文献・情報 と 学習・研究の関係



# レポートの考えかた

## ・書きかたの基礎

---

Look if you like, but you will have to leap.



# レポートとは...

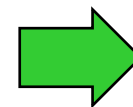


「デジタル大辞泉」によると、「調査・研究などの報告書」。  
「プログレッシブ和英中辞典」によると「1.報告書、2.先生に出す小論文」と定義されている

**「自分の考えを、根拠に基づいて読み手に伝えるためのコミュニケーション手段」**

注意

- 事実の羅列
- 単なる憶測・感想文
- 主張が明確でないもの
- 他人の意見の引き写し



**レポートとして  
評価されにくい**

# よいレポートの三原則



1) 主張が明確である

2) 先行研究を批判的に検討している

3) 具体例で語る努力をしている

出典:「よい論文の三原則」

小笠原喜康. 大学生のためのレポート・論文術. 講談社, 2002, 209p.

# レポート作成のプロセス



## テーマの決定

- 課題 = 大テーマ  
「医療と情報」  
→ 中テーマ  
→ 小テーマ

漠然とした  
イメージを  
具体化・明  
確化

## 先行文献の調査と評価

- 調査Step1  
言葉の意味を調査・定義 = 読み手との共通認識  
→ 百科事典 etc.
- 調査Step2  
テーマについて書かれた文献を探す  
→ データベース etc.

## 考察・調査

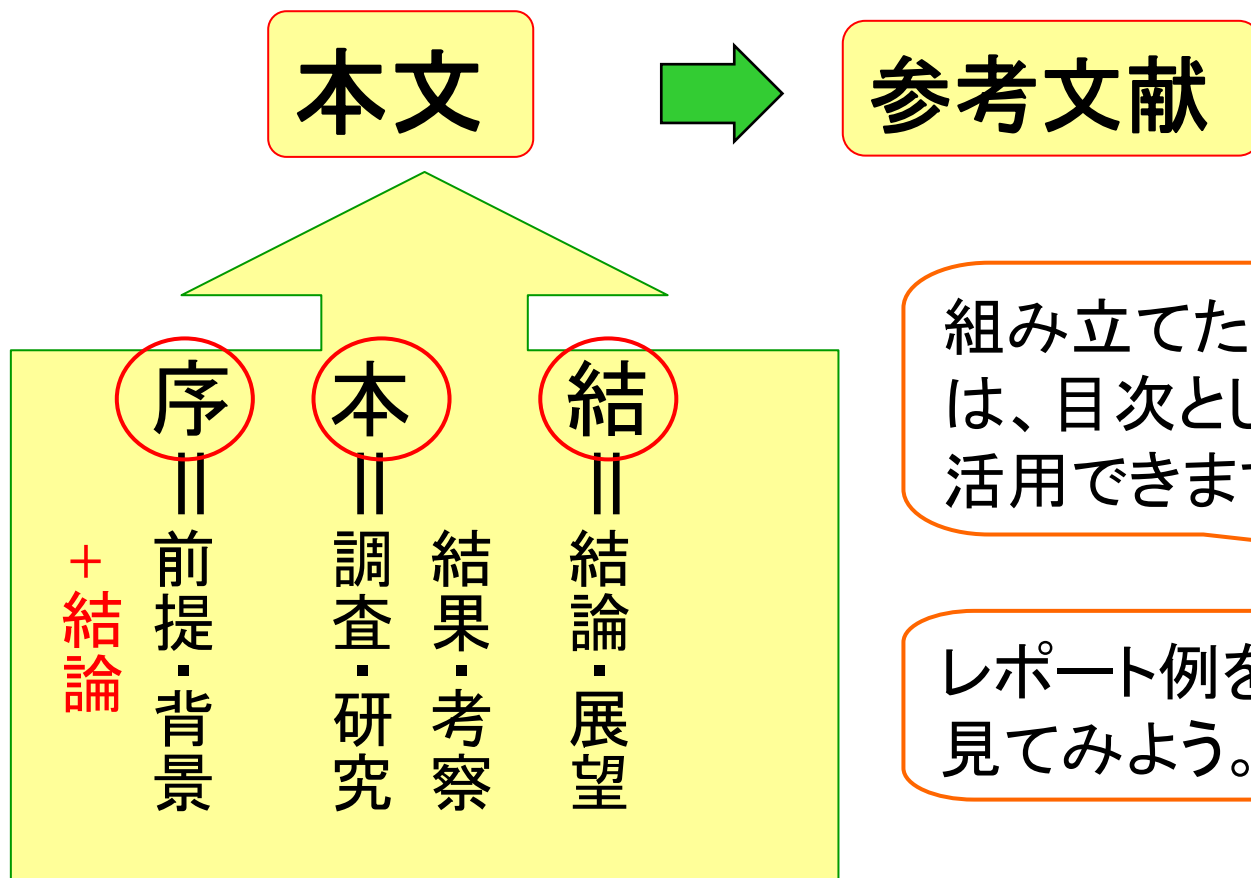
- 自らの経験・認識
- 歴史・背景
- 具体例・実態の調査
- 統計などの客観的数値
- 将来への展望と普遍化

## レポートの作成

- 構成を考える  
図解法が  
お薦め！
- レポート執筆
- 参考文献の記述

# レポートの構成方法：組み立て方

## ●一般的なレポートの構成法



組み立てた構成は、目次として活用できます

レポート例を見てみよう。

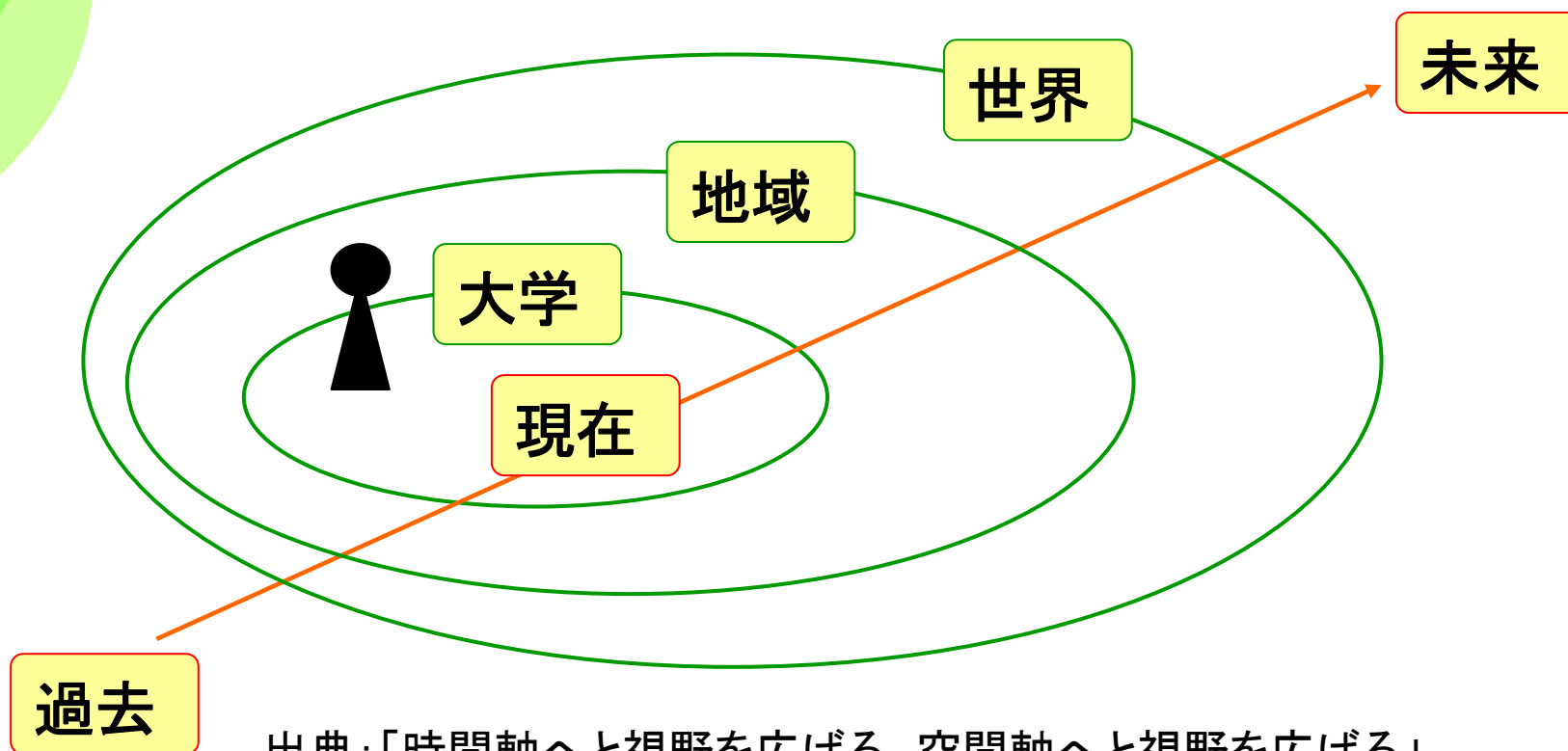




# レポートの構成方法



- 空間的・時間的に視野を広げ、位置づけを明確にする



出典:「時間軸へと視野を広げる、空間軸へと視野を広げる」  
山田ズーニー. 伝わる・揺さぶる!文章を書く. PHP研究所, 2001, 33p.

# 論理の組み立てかた:2つの手法

3段論法

**演繹法** (一般法則から具体的な事例へ)

A類に属する生物にはXという特徴がある。



新しく発見された生物CにもXという特徴が見られた。



生物CはA類であるといえる。

**帰納法** (具体的な事例から一般法則へ)

A類に所属する生物BにはXという特徴があった。

+

B以外のA類の生物にもXという特徴が見られた。



A類にはXという特徴がある。

3段論法や帰納法・演繹法を活用して、だれもが納得できる、論理的で理解やすいレポートに仕上げよう！



# 読みやすいレポート: 文章のコツ

## ①文体

「である調」がベター。混在はNG！  
推量の表現はあまり使わない。  
（「～と思う」）

## ②段落

200字から300字程度で  
段落を変える  
（1段落5～6行）

## ③句読点

30字程度で読点（、）  
60字程度で句点（。）

## ④アルファベット表記・数字表記

すべて半角に統一する・・・など

レポートは「読んで自分の考えを理解してもらう」ための  
コミュニケーション・ツールだから、「伝えたいこと」を  
読みやすい文章で書けば大丈夫です！

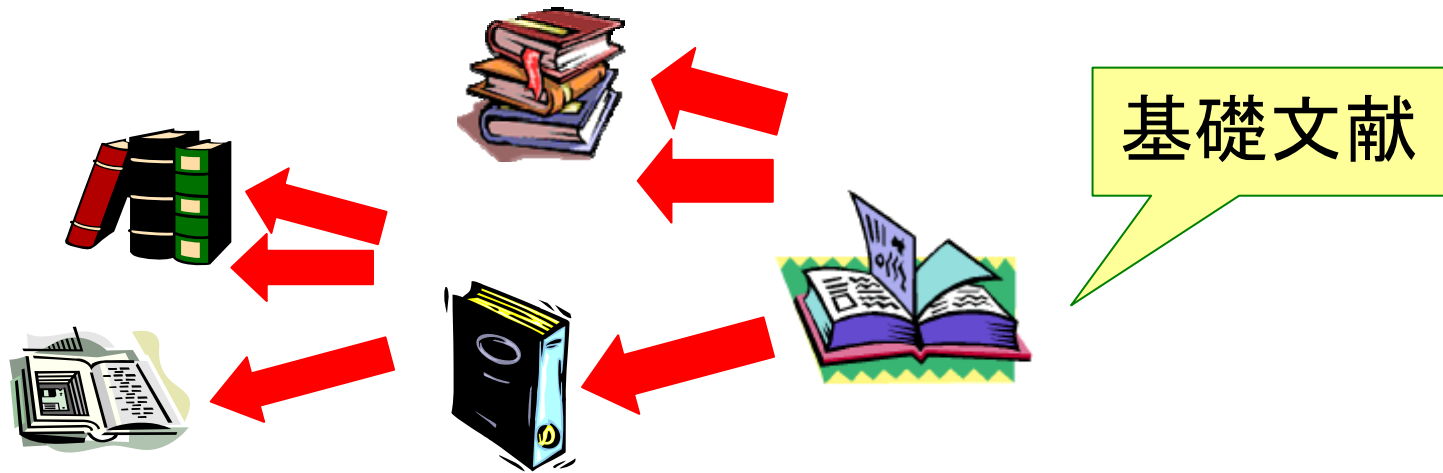
声に出して読んでみて、息継ぎがしやすいくらいの長さが  
目安になります。

この文章、  
何文字？



# 参考文献の必要性

- 「参考文献」は図書(論文)を書く際に参照した本や論文



- その主題について、さらに広く、深く遡れます。
- 孫引きは×！
- 自分でも「参考文献」リストを付けよう！

## 参考文献の書きかた例(図書)

### ● 本文中の記述

では、どのような文章が「伝わる文章」なのだろうか。  
私がこれまで拠り所としてきたのは、小笠原喜康著「大学生のためのレポート・論文術」(講談社, 2002)に掲載されていた「よい論文の三原則」である※2)。

著者名

書名

出版者

2) 小笠原喜康. 大学生のためのレポート・論文術. 講談社,  
2002, 209p.

出版年

引用部分など、ページを特定したい場合。

## 参考文献の書きかた例 (Web情報・雑誌論文)

---

サイト著者

サイト名

参照日

情報科学技術協会 “執筆の手引き”

入手先 < <http://www.infosta.or.jp/> > (参照2006-5-15)

URL

論文著者名

論文タイトル

中野正孝: 保健師養成教育における情報科学教育の意義と課題,  
Quality nursing, 10(3), 221-227, 2004

論文掲載雑誌名、巻(号)、ページ、出版年

# 参考文献の内容を、どのように使うか？

## 引用の仕方：直接引用＆間接引用

---

### 直接引用

(参考文献一部をそのまま書き写す)

#### 書き方例

[レポートの文体で一番大事なことは、「である体」の文章の中に、「です・ます体」の文章を混ぜないこと]だとい<sup>2)</sup>

### 間接引用

(参考文献の内容を要約して書く)

#### 書き方例

#### 原文

レポートでは客観的・論理的に事実を述べる必要がありますので、「です・ます体」はふさわしくありません。

#### レポートの要約表現

レポートの文体は、「です・ます体」を用いて客観的・論理的に事実を述べる<sup>2)</sup>

このように、引用して使った先行文献は、レポートの最後に参考文献としてリストをつけます。

# 簡単なレポートを書いてみよう

---

Not failure, but low aim, is a crime.





## 実習：簡単なレポート執筆

---



- 宿題で選んだ図書を使って、レポートを書いてみます。
- 実習時間は45分間です。
- 三重大学Moodleで提出をしてください。

書き終わったら、三重大学附属図書館のホームページからいろいろなデータベースを使い、レポートテーマについて更に情報を集めてレポートをブラッシュアップしましょう。

# 実習：簡単なレポート執筆



## ● レポート課題

ある「テーマ」についてレポートを書く際、  
必要な情報検索について

- 「テーマ」は、「自分自身が興味を持っている事柄」です。
- 図書館で借りてきた図書に基づいて、執筆します。

テーマ例：環境保全と資源のリサイクル、イルカの生態etc. …

# 課題の提出方法

- Moodleに直接書き込みます。
- はじめに、課題を範囲指定してコピーし、「**提出課題を編集**」ボタンをクリックし、課題を貼り付けます。
- あとは項目を埋めていきます。

The screenshot shows a Moodle submission page. At the top, it displays the course name '情報科学基礎(教・英国音)2006年' and the date '2006/05/08-05/15'. Below this, there is a breadcrumb trail: 'Moodle > kyo\_katsura2006 > 課題 > レポート「あるテーマについてレポートを書く際、必要な情報検索について」『三重県の学校における多文化教育の課題』'. The page contains a form with the following fields:

- 学籍番号: 123456
- 所属: 教育学部〇〇科
- 氏名: 三重花子
- レポート課題: あるテーマについてレポートを書く際、必要な情報検索について

The main content area is a list of numbered items:

1. テーマ:「三重県の学校における多文化教育の課題」
2. テーマについての情報検索の流れ
  - 2-1. 使用したデータベース: (WebcatPlus → 三重大OPAC など)
  - 2-2. 使用したキーワード:
  - 2-3. 検索の結果探し当てた図書: (試行錯誤があればその過程も書く)
3. 図書を借りたときのこと
  - 3-1. 図書の所在: OPACの記述どおりに(図・開架・図書/図・書庫 など)
  - 3-2. 本を借りるために取った手続き(自動貸出/カウンター)
4. テーマについて、読んだ図書に基づいて記述する
5. 参考文献

At the bottom of the page, there is a message: 'あなたはまだ何も提出していません。' and a button labeled '提出課題を編集' which is highlighted with a red box.



# 課題のレポートの構成

---

- 1) テーマおよびテーマを決めた理由
- 2) テーマについての情報検索の流れ  
使用したデータベース: (Webcat → 三重大OPAC など)  
使用したキーワード:  
検索の結果探し当てた図書:  
(試行錯誤があればその過程も書く: 評価の対象になります)
- 3) 図書を借りたときのこと  
図書の所在: OPACの記述どおりに(図・開架・図書／図・書庫 など)  
本を借りるために取った手続き(自動貸出／カウンター)
- 4) テーマについて、読んだ図書に基づいて記述する
- 5) 参考文献をレポートの末尾に記述する

# まだまだできる文献探し & その他の便利なサービス

---

We will either find a way, or make one.



## 参考文献の書きかた例 (Web情報・雑誌論文)

---

サイト著者

サイト名

参照日

情報科学技術協会 “執筆の手引き”

入手先 < <http://www.infosta.or.jp/> > (参照2006-5-15)

URL

論文著者名

論文タイトル

中野正孝: 保健師養成教育における情報科学教育の意義と課題,  
Quality nursing, 10(3), 221-227, 2004

論文掲載雑誌名、巻(号)、ページ、出版年

# ちょっと寄り道： 雑誌論文の探し方・・・



三重大にあるかどうか、OPACで「Quality Nursing」を検索。  
検索項目は、「**タイトル**」を使う。

選択資料 :  全資料  図書  雑誌

和洋種別 :  すべて  和書のみ  洋書のみ

検索対象館室 :  すべて  図書館  医学科図書室  看護学習ホール

タイトル :

フルタイトル :

著者名 :

出版者 :

一覧表示順 : タイトル  を 昇順  で表示

一覧に表示する件数は  件/頁とし、最初の  件を表示します

雑誌論文を探すには、**収録雑誌名**で検索するのが基本

よくあるまちがい例

- × 論文名を「タイトル」で探す
- × 論文の著者を「著者名」で探す

# 論文の掲載されている巻・号・年を探す

## 雑誌詳細情報

書名/責任表示: Quality nursing : the Japanese journal of nursing education & nursing research

巻次年月次: Vol. 1, no. 1 (Jan. 1995)-v. 10, no. 3 (Mar. 2004)

出版事項: 東京: 文光堂, 1995.1-2004.3

形態: 冊; 26cm

ISSN: 13409875

タイトル言語: 英語

テキスト言語: 日本語

書誌ID: AN10462338

読みたい論文が掲載されている「巻・号」「年」を探す  
“-”でつながれている巻号は欠号なく持っている。  
“+”マークが付いている場合は、継続中。

10巻3号(2004)  
があるか?

	所蔵巻号	所蔵年次	請求記号
<a href="#">看護学習ホール</a>	5(4-12),6-9,10(1-2,9-12)	1999-2004	
医・看護部	3(10-12),4-9,10(1-3)	1997-2004	
医・成人看護学	1-9,10(1-9)	1995-2004	



# 復習Point 目的に最適なツールを選ぼう①



## ● どんな文献があるか？

**図書:** WebcatPlus、三重大学OPACなど

**日本の雑誌論文:**

CiNii (国立情報学研究所)

**オススメ!**

NDL-OPAC (国会図書館), 医中誌 (医学関係)

**海外の雑誌論文**

Web of Science , PubMed (医学関係)

SciFinder Scholar (化学関係)

Firstsearch (様々なDBが使えるサービス)

※各DBの分野、収録年、収録雑誌等に注意!

# 復習Point 目的に最適なツールを選ぼう②



- その文献はどこにある／アクセスできるのか？

印刷された本や雑誌を所蔵しているか

- ・三重大学 **三重大学OPAC**
- ・三重県内の図書館:MILAI
- ・全国の大学図書館:NACISIS WebCAT

電子的に本文にアクセスできるか

- ・本の場合:青空文庫など (<http://www.aozora.gr.jp/>)
- ・雑誌論文・学会誌の場合:

電子ジャーナルアクセスサービス(<http://www.lib.mie-u.ac.jp/ej/>)

日経BP記事検索サービス「日経メディカル」など

**オススメ!**



## 復習Point 目的に最適なツールを選ぼう③



### ● その他のデータベース

- ・新聞記事を探す：[聞蔵（朝日新聞全文DB）](#)  
中日新聞・東京新聞記事検索サービス

- ・言葉の意味を探す：

ネットで百科  
JapanKnowledge  
知恵蔵  
現代用語の基礎知識

（平凡社の百科事典）

（ニッポニカ日本大百科全書など）

（聞蔵で利用）

（JapanKnowledgeで利用）

- ・法律・判例を探す：

法令データベース

D1-law

（現行の法律・基準・規則など）

（国内の判例や関連の文献を探す）

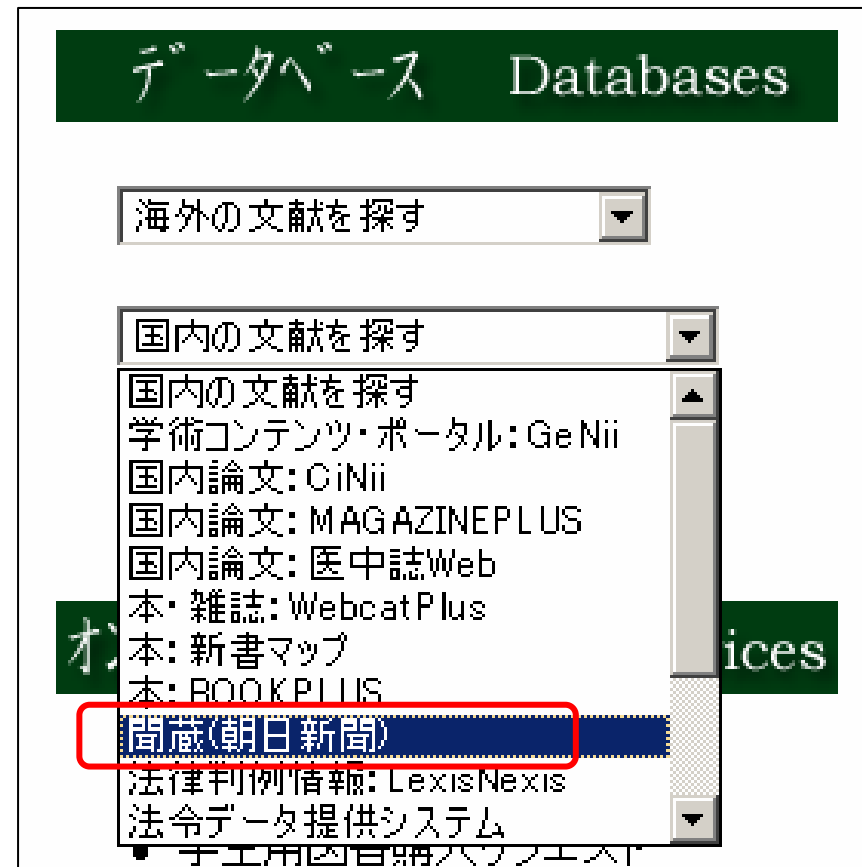
- 全て図書館ホームページからリンクされています。

- 「データベースの選び方」もご参照ください。

# 新聞記事を探そう！

## ● 朝日新聞記事検索「聞蔵」 (同時アクセス1)

- 1984年8月以降の朝日新聞記事データベースの検索。
- キーワードを入力して、記事本文が検索できます。
- 本文がパソコン上で読めます。



# 新聞記事の探し方「聞蔵」

II@ih 三重大学附属図書館 > News > Calendar > Online Service > MU-OPAC > NACSIS WebCAT > MILAI

## 聞蔵・聞蔵Ⅱ (DNA for Library) の利用方法

1984年8月以降の朝日新聞記事データベースを検索することができます。  
下記のボタンを押して、データベースに接続してください。

**【お知らせ】**

- 2005年9月より、聞蔵がリニューアルしました。
  - スタート画面のURLが変更になりました。
  - 複数の本文記事をまとめて表示できます。
  - 記事の種類やジャンル別に検索結果を絞り込むことができます。
- 2006年7月より、聞蔵Ⅱのサービスを開始しました。
  - 約700万件以上の記事を収録した国内最大級の新聞記事オンラインデータベースです。
  - 1945年(終戦直後)から現在までの紙面イメージデータベースが追加されています。
  - 2006年11月以降の記事は図表・写真も見られます。

login to 聞蔵 **login to 聞蔵Ⅱ**

ログアウトを忘れずに

聞蔵Ⅱ ビジュアル  
DNA for Libraries

使い方 ? 利用規定 ログアウト

キーワード入力

朝日新聞1985~ 週刊朝日 AERA 朝日新聞縮刷版 1945~1984 知恵蔵 人物

→ 検索モード  シンプル検索  詳細検索

対象紙誌名  朝日新聞  アエラ  週刊朝日

→ キーワード  検索実行 クリア

AND OR NOT  関連キーワード参照

→ 発行日  3ヶ月  6ヶ月  1年  全期間

年 月 日 から 年 月 日

→ リスト表示

件数

順序  新しい順  古い順

検索期間を指定

# 新聞記事の探し方「聞蔵」

検索画面へ戻る

三重大学&研究 再検索

AND OR NOT

※グリーンで表示された記事は著作権などの関係で本文を表示できません。  
総件数: 11件 通し番号: 1 ~ 11

No.	発行日	朝夕刊	面名	ページ	文字数	写真図表
00001	2007年4月26日	朝刊	三重全県・1地方	035	00439文字	あり
00002	2007年4月17日	朝刊	1社会	027	01392文字	あり
00002	2007年4月16日	週刊	アエラ	029	21399文字	あり

見たい記事のタイトル  
(見出し)をクリック!

朝日新聞1985~週刊朝日 AERA 朝日新聞縮刷版 1945~1984 知恵蔵

検索一覧画面へ戻る

総件数: 11件

No.	発行日	朝夕刊	面名	ページ	文字数
00001	2007年4月26日	朝刊	三重全県・1地方	035	00439文字

市の整備施設に三重大研究拠点 伊賀、協定締結 / 三重県

産学官連携を目的に伊賀市が来春、同市ゆめが丘地区に整備する施設に、三重大が伊賀地域では初となる研究拠点を設けることが正式に決まり、25日、市と三重大が協定書を交わした。産学連携では、大学のキャンパス内に共同研究施設を設ける例が多いが、自治体が整備した建物に大学の研究者が常駐する形態は全国でも珍しいという。

新施設の主な研究分野はエコテクノロジーとバイオテクノロジーで、三重大側は学

記事の本文が  
読めました!

新聞の紙面そのままのイメージを見たい場合はここをクリック!

朝日新聞 2007年4月26日 朝刊 35ページ 三重全県

市の整備施設に三重大研究拠点 伊賀、協定締結

産学官連携を目的に伊賀市が来春、同市ゆめが丘地区に整備する施設に、三重大が伊賀地域では初となる研究拠点を設けることが正式に決まり、25日市と三重大が協定書を交わした。産学連携では、大学のキャンパス内に共同研究施設を設ける例が多いが、自治体が整備した建物に大学の研究者が常駐する形態は全国でも珍しいという。

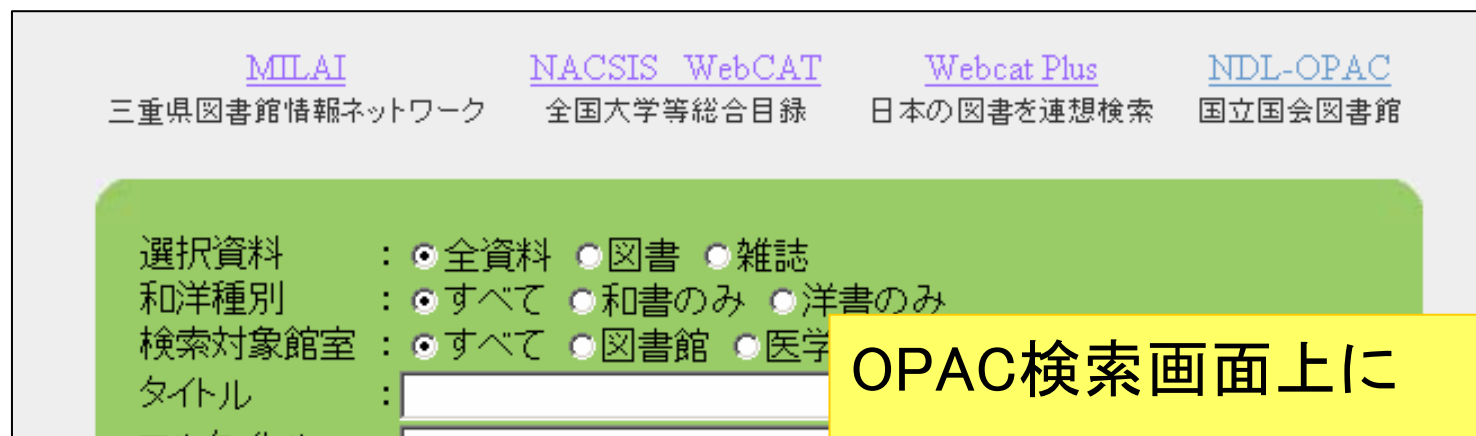
新施設の主な研究分野はエコテクノロジーとバイオテクノロジーで、三重大側は生物資源学研究科を中心に大学院生を常駐させ、地元企業と新産業の創出を模索する。

今岡隆之市長は「施設

伊賀市 協定書 調印式

# 三重大大学になかったら・・・

- 他の図書館の所蔵を調べてみましょう



The screenshot shows a search interface with the following elements:

- Navigation links: [MILAI](#) (三重県図書館情報ネットワーク), [NACSIS WebCAT](#) (全国大学等総合目録), [Webcat Plus](#) (日本の図書館を連想検索), [NDL-OPAC](#) (国立国会図書館)
- Filter options (highlighted in green):
  - 選択資料 :  全資料  図書  雑誌
  - 和洋種別 :  すべて  和書のみ  洋書のみ
  - 検索対象館室 :  すべて  図書館  医学
  - タイトル :

OPAC検索画面上に  
リンク集があります

- 借りたり、コピーを取り寄せることもできます。
- 購入リクエストサービスもあります！！

# Webサービスの登録をしていただくと...

## ◆ 次のようなサービスが受けられます

### ◆ オンライン予約

→ OPACを検索して「貸出中」だった場合、「予約」ボタンでオンライン予約が可能。

### ◆ 返却忘れメール

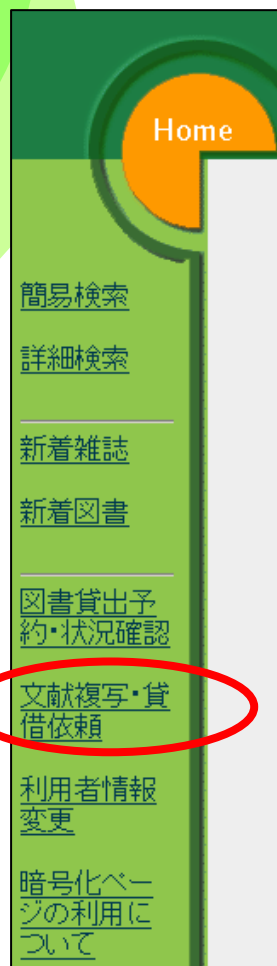
→ うっかり返却期限に遅れて「ペナルティ」がついて、本がずっと借りられなくなった・・・。  
ということが無いように、返却忘れメールが届きます。

### ◆ オンラインの本やコピーの取り寄せ依頼

→ 三重大で手に入らない本や雑誌のコピーをオンラインで取寄せ依頼ができます。

### ◆ 自宅で貸出延長！

→ 図書館に来館できなくても、Web上で貸出延長ができます！





# そして・・・図書館員と仲良くなろう！

---

- 何かわからないことがあったら、いつでも**図書館のスタッフ**に質問してください。
- スタッフは、みなさんが**図書館サービス**を**十分に活用するためのサポート**をします。ぜひ、ご利用ください。

- 貸出返却・開館情報：閲覧担当  
Email [lib-service@ab.mie-u.ac.jp](mailto:lib-service@ab.mie-u.ac.jp)
- 文献複写：相互貸借担当  
Email [portal@ab.mie-u.ac.jp](mailto:portal@ab.mie-u.ac.jp)
- 参考質問：情報リテラシー担当  
Email [literacy@ab.mie-u.ac.jp](mailto:literacy@ab.mie-u.ac.jp)

**Welcome!**



# 参考文献一覧



## ● 言葉の定義について

1. JapanKnowledge, "デジタル大辞泉", "プログレッシブ和英中辞典", 入手先 <<http://na.jkn21.com/>> (参照2006-5-6)

## ● レポートの書き方について

2. 小笠原喜康. 大学生のためのレポート・論文術. 講談社, 2002, 209p.
3. 山田ズーニー. 伝わる・揺さぶる!文章を書く. PHP研究所, 2001, 33p.

## ● 参考文献の書き方について

4. 独立行政法人科学技術振興機構 "科学技術情報流通技術基準参照文献の書き方" 入手先 <[http://www.jst.go.jp/SIST/handbook/sist02/sist02\\_m.htm](http://www.jst.go.jp/SIST/handbook/sist02/sist02_m.htm)> (参照2006-3-24)
5. 情報科学技術協会 "執筆の手引き" 入手先 <<http://www.infosta.or.jp/>> (参照2006-5-15)